

令和 2 年度 事業報告書

自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 3 年 3 月 31 日

公益財団法人 マルホ・高木皮膚科学振興財団

目 次

1. 事業報告書	3
2. 事業報告書附属明細書	6
(1) 理事会・評議員会・選考委員会開催状況	
(2) 役員名簿	
(3) 評議員名簿	
(4) 選考委員名簿	

1. 事業報告書

当財団は、「創造的な研究の奨励等に関する事業を行い、皮膚科学の発展と国民の健康福祉の増進に寄与する」ことを目的に平成 28 年 2 月 3 日に設立され、皮膚科学に関する分野の研究を行う個人や団体に助成を行うことで、この分野の治療、研究の振興を図り、もって我が国の健康の促進と医療の発展に貢献したいと考える。

平成 29 年度からは、定款第 4 条（事業）第 1 項に掲げる「皮膚科学に関する研究に対する助成」事業を毎年度実施している。

(1) 公益事業の実施

1) 皮膚科学に関する研究に対する助成事業の実施

1-1) 第 4 回高木賞

「皮膚科学の発展に資する研究を行う個人や団体に対して、助成金の支給」という形で支援する事業を実施し、令和 2 年 4 月に以下の 5 名の受賞者に対し、助成金を交付した（所属・役職は申込時）。

- 北海道大学大学院医学研究院皮膚科学教室 講師 乃村 俊史 500 万円
「長島型掌蹠角化症に対する新規治療法の開発と変異 SERPINB7 mRNA 分解機構の解明」
- 三重大学大学院医学系研究科皮膚科 教授 山中 恵一 500 万円
「重症皮膚炎に随伴する内臓臓器障害の病態解明と治療法の検討」
- 筑波大学医学医療系皮膚科 講師 渡辺 玲 500 万円
「皮膚 T 細胞の脂肪酸代謝に着目した皮膚免疫老化予防策の開発」
- 名古屋大学医学系研究科皮膚科学 講師 武市 拓也 250 万円
「自己炎症性角化症の病態解明と治療法の確立」
- 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科皮膚科学分野 教授 森実 真 250 万円
「メラノーマに対するがん神経医療の開発」

令和 2 年 4 月 18 日に実施予定であった第 4 回高木賞贈呈式は新型コロナウイルス感染症対策のため実施困難と判断し、中止した。

1-2) 第 5 回高木賞

令和 2 年 8 月に医育機関名簿に基づき全国医育機関 180 か所の皮膚科教授／部長宛に高木賞募集要項を送付し、同年 10 月 1 日から 11 月 31 日までの間に合計 21 件の応募を受けた。

応募を受けた案件は、7 名の選考委員により「研究の科学的新規性」、「研究の臨床医学へのインパクト」、「研究方法及びその計画の妥当性（倫理性を含む）」、「皮膚科臨床に対する直結度」を勘案して 5 段階評価により審査された。これらの結果につ

いては令和3年2月1日開催の選考委員会での審議を経て、同年3月5日の理事会にて第5回高木賞受賞者7名を決定した。同年4月以降に、各大学の指定の方法に従い助成金を交付する。

なお、清水晶先生は4月1日から金沢医科大学に異動につき、金沢医科大学の指定の方法で助成手続きを行なっている。

第5回高木賞の受賞者は以下の7名である（所属・役職及び年齢は申込時）。

高木賞 500 万円 （1名）

- 奈良県立医科大学 准教授 新熊 悟 40 歳
「復帰変異モザイクモデルマウスの作製と表皮細胞の増殖優位性獲得機序の解明」

高木賞 250 万円 （6名 五十音順）

- 群馬大学附属病院 講師 清水 晶 50 歳
「皮膚悪性腫瘍関連 Human papillomavirus 検出キットの開発」
- 香川大学 教授 大日 輝記 49 歳
「円形脱毛症の上皮-免疫微小環境（EIME）」
- 島根大学 准教授 千貫 祐子 48 歳
「成人小麦アレルギー疾患感受性遺伝子に関する簡易検査法の開発と発症予防法の確立」
- 名古屋市立大学大学院 講師 中村 元樹 41 歳
「メルケル細胞癌における腫瘍の G6PD 発現と免疫活性に基づいた免疫チェックポイント阻害薬効果予測」
- 浜松医科大学 教授 本田 哲也 46 歳
「組織常在型記憶 T 細胞の包括的機能理解を切り口とした慢性炎症性皮膚疾患病態解明と革新的治療戦略」
- 信州大学 助教 皆川 茜 44 歳
「早期爪部メラノーマ診断における爪片中メラニン代謝物質のバイオマーカー検証」

令和3年4月17日に WEB 上にて第5回高木賞の贈呈式を実施する。

1-3) 第2回高木賞 受賞者からの報告

第2回高木賞の助成期間が令和2年3月末日に満了したため、助成者に対して助成期間満了のお知らせと、結果報告書、収支報告書提出のお願いを送付し、第2回高木賞受賞者全員から収支報告書、研究結果報告書を入手した。以後、研究結果報告書の小冊子を作製する予定である。

2) 広報活動の実施

令和2年7月31日にマルホ・高木皮膚科学振興財団の広報用パンフレットを作成した。

第1回高木賞の研究成果をまとめ、研究結果報告書集として冊子化した。これらを高木賞募集要項と共に医育機関名簿に基づき全国医育機関180か所の皮膚科教授/部長宛に送付した。この第1回高木賞にかかる研究結果報告書は、その1部ずつを国立国会図書館、及び医学中央雑誌刊行会に納本した。

日本皮膚科学会誌9月号、10月号及び日本臨床皮膚科医会雑誌に第5回高木賞の募集要項と第4回高木賞受賞者名を掲載し、日本国内の皮膚科医に対してマルホ・高木皮膚科学振興財団と高木賞について広報活動を実施した。

令和3年3月8日には、同年3月5日に開催された理事会で決定した第5回高木賞受賞者を財団ホームページに掲載した。

国内の臨床現場の皮膚科医に対する当財団・高木賞の認知度は未だ低いと思われる。このため、臨床現場への財団の認知度を上げるために、日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会のポスター賞に財団から副賞として盾と賞金を贈呈して財団を広告することを計画し、令和3年2月、3月に日本臨床皮膚科医会事務局と打合せを行った。また、本件の学術大会のホームページへの掲載をお願いし、広報活動の一助とした。

令和3年4月24日、25日の日本臨床皮膚科医会総会にて決定されるポスター賞受賞者に対し（25日の閉会式にて発表）、後日、副賞贈呈を行うとともに学会誌や学会ホームページでの公開を依頼する予定である。

(2) 理事、評議員の推移

令和3年3月31日現在の理事・評議員数

理事：11名 評議員：6名

2. 事業報告附属明細書

(1) 理事会・評議員会・選考委員会開催状況

1) 理事会

①令和2年 第1回定例理事会 令和2年5月22日

新型コロナウイルス感染症対策のため、決議の省略による方法を用いて実施した。

議題	審議内容
<決議事項>	
1) 令和元年度事業報告・財務諸表	令和元年度の事業報告・財務諸表が承認された。
2) 第5回高木賞選考委員の選任	第5回高木賞選考委員選任について承認された。
3) 第5回高木賞募集要項	第5回高木賞 募集要項について承認された。
4) 令和2年度定時評議員会招集	令和2年度定時評議員会の招集について承認された。
<報告事項>	
職務執行状況の報告	理事長、常務理事の職務執行状況について報告された

②令和2年度 臨時理事会 令和2年12月2日 (決議の省略の方法による)

議題	審議内容
<決議事項>	
1) 保有株式議決権行使	マルホ株式会社の株主総会議決権行使について承認された。
2) 寄附受入れ	寄附受入れについて承認された。
3) 第3、4回高木賞助成期間及び報告書提出期限延長	第3、4回高木賞受賞者に対する助成期間及び報告書提出期限を延長することについて承認された。

③令和2年度第2回定例理事会 令和3年3月5日 WEB 併用による開催

議題	審議内容
<決議事項>	
1) 第5回高木賞受賞者	第5回高木賞の受賞者について承認された。
2) 第6回高木賞選考委員選任	第6回高木賞の選考委員選任について承認された。
3) 選考委員の報酬等に関する規程の改定	選考委員の報酬等に関する規程の改定について承認された。
4) 日本臨床皮膚科医会を通じた新規助成計画	日本臨床皮膚科医会を通じたポスター賞副賞提供について承認された。
5) 令和3年度事業計画、収支予算書	令和3年度の事業計画、収支予算書について承認された。
<報告事項>	
職務遂行状況の報告	理事長、常務理事の職務遂行状況が報告された。

2) 評議員会

① 令和 2 年度定時評議員会 令和 2 年 6 月 12 日

新型コロナウイルス感染症対策のため、決議の省略による方法を用いて実施した。

議題	審議内容
< 決議事項 >	
令和元年度事業報告・財務諸表	令和元年度の事業報告・財務諸表について承認された。
< 報告事項 >	
1) 第 4 回高木賞贈呈式の実施報告	第 4 回高木賞贈呈式の実施についての報告があった。
2) 第 5 回高木賞募集について	第 5 回高木賞の募集についての報告があった。

3) 選考委員会

令和 3 年 2 月 1 日 WEB を用いたリモート会議で実施した。

21 件の応募案件について、各選考委員の評価（令和 2 年 12 月～令和 3 年 1 月実施）
の集計表に基づき選考を行い、7 件の高木賞候補者を選択した。

(2) 役員名簿

【理事：11名・監事2名】

【任期（理事）：令和元年6月14日から令和3事業年度に係る定時評議員会の終結の時まで】

【任期（監事）：令和元年6月14日から令和5事業年度に係る定時評議員会の終結の時まで】

役職名	氏名	備考
理事	高木 幸一	創業家、マルホ株式会社 代表取締役会長
理事	前田 誠二	元 マルホ株式会社 取締役
理事	川島 眞	東京女子医科大学名誉教授
理事	川島 義治	公益財団法人 宮川庚子記念研究財団 理事
理事	黒澤 和平	元 藍野大学 医療保健学部長 公益財団法人興和育英会 評議員
理事	今野 清隆	元 日本新薬株式会社 執行役員
理事	昌子 久仁子	神奈川県立保健福祉大学 教授
理事	富田 圭子	近畿大学農学部 准教授
理事	原 拓志	関西大学商学部 教授、神戸大学名誉教授
理事	安村 満	元 アステラス製薬株式会社
理事	吉田 治典	創業家、京都大学名誉教授
監事	鈴木 祥克	太陽グラントソントン税理士法人 パートナー
監事	濱岡 峰也	清和法律事務所 弁護士

(3) 評議員名簿

【評議員：6名】

【任期：令和元年6月14日から令和5事業年度に係る定時評議員会の終結の時まで】

役職名	氏名	備考
評議員	上島 悦子	大阪大学名誉教授
評議員	小野 昭雄	小野PB企画 代表
評議員	富田 美子	創業家
評議員	平野 光俊	大手前大学 副学長、神戸大学名誉教授
評議員	藤村 昭夫	自治医科大学名誉教授
評議員	宮井 宏	元 パナソニック株式会社

(4) 選考委員名簿

【選考委員：7名】

【任期：令和2年度（令和2年4月1日～令和3年3月31日）】

選考委員名 非開示